

公益社団法人日本獣医師会における 薬剤耐性（AMR）対策の取組

平成30年11月21日

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 境 政 人

1 会員に対する関連情報の周知

（1）農林水産省通知の地方獣医師会への周知

「牛及び豚に使用するセフトフル製剤のリスク管理措置について」（平成29年4月3日付）

「牛及び豚に使用するセフキノム製剤のリスク管理措置について」（同年8月25日付）

「家畜に使用するコリスチン製剤（動物用医薬品）のリスク管理措置について」（同年9月20日付）ほか

（2）日本獣医師会雑誌の発行による関連情報の普及啓発

○ 農林水産省の協力により、平成28年9月号から平成30年5月号まで21回にわたり

「動物用抗菌性物質を取り巻く現状」をシリーズ企画として掲載

2 委員会における検討

（1）特別委員会における検討

ア 第1回“One Health”推進特別委員会・薬剤耐性（AMR）対策推進検討委員会（平成29年11月開催）

○ 犬・猫等の診療における薬剤耐性（AMR）対策について検討

○ 小動物臨床分野における抗菌剤の使用状況等の把握の必要性、調査の実施・協力について検討

・ 農林水産省からの依頼により「健康な伴侶動物由来の薬剤耐性菌モニタリング調査」協力施設（全国217の動物診療施設）をとりまとめ

・ 小動物獣医療における抗菌剤の使用実態調査（全国約170の動物診療施設が平成29年4月から平成30年3月までの1年間に使用した抗菌剤の商品名、投与経路、成分含有量、使用量等）を実施。現在取りまとめ中

イ 第2回“One Health”推進特別委員会・薬剤耐性（AMR）対策推進検討委員会（平成30年12月開催予定）

（2）部会委員会における検討

ア 産業動物臨床・家畜共済委員会（平成29年8月、12月開催）

○ 動物用医薬品指示書による抗菌剤等の適正な処方、慎重使用の徹底について検討

イ 小動物臨床委員会（平成29年9月、平成30年10月開催）

○ 小動物臨床分野における抗菌剤の使用状況等の把握の必要性、調査の実施・協力について検討

3 学術学会、シンポジウム等の開催

(1) 獣医学術学会年次大会におけるシンポジウムの開催

- 平成29年度獣医学術学会年次大会【大分】シンポジウム
「畜産現場における薬剤耐性菌対策を考える」
(平成30年2月10日、別府国際コンベンションセンターにて開催)

(2) 日本医師会と日本獣医師会による連携シンポジウムの開催

- 第6回連携シンポジウム
「ワンヘルスに関する連携シンポジウム - 薬剤耐性（AMR）対策 -」
(平成29年11月27日、日本医師会館にて開催。
厚生労働省主催。農林水産省、日本医師会、日本獣医師会共催)
- 第8回連携シンポジウム
「家庭内ワンヘルスの取組み - 人と動物における薬剤耐性（AMR）の実態と課題 -」
(平成30年11月16日、日本医師会館にて開催。
日本医師会、日本獣医師会共催。農林水産省後援)



4 国際研修の実施

アジア地域臨床獣医師等総合研修事業（平成29年度から開始）

- 平成30年度は、アジア10カ国※の獣医師10名を対象に、10獣医系大学※※の協力の下で薬剤耐性対策の取組を含めて研修を実施中

※10カ国：台湾、ミャンマー、スリランカ、中国、韓国、フィリピン、インドネシア、ベトナム、モンゴル、タイ

※※平成30年度の実施大学：北海道大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、山口大学、宮崎大学、大阪府立大学、酪農学園大学、日本大学、麻布大学

- 平成31年度は、研修獣医師を16名に拡大し、13獣医系大学（上記の大学のほか帯広畜産大学、鹿児島大学、北里大学）及び農研機構動物衛生研究部門の協力の下で実施予定。



平成30年度開講式にて